

語りたいたい旅

旅人 横手 通人さん(69)
 旅先 ミャンマー
 〓高松市

【費用】4泊5日で約15万円
 【アドバイス】海外では、安全だと言われている時間帯でも、1人では行動しないようにしましょう。もし、事件や事故に巻き込まれた場合、自分に危険があるだけでなく、同行した旅行者にも迷惑をかけることになりま

父親が興じた会社を引き継ぎ、社員の生活と会社の利益を守るため、がむしゃらに働いた現役時代。五十歳を前に大病を患い、ふと自分の人生を振り返ったとき、競争社会を生き抜き、お金を残すことだけが人生じゃないと気付きました。

さまざまな形で地域のお手伝いをし、隣国との友好を深めています。

「人間の一生は限られている。ならば、心休まる場所に身を置きたい」。そう思った私が、自分の居場所と決めたのが奉仕の社会。

所属するロータリークラブでは、スポーツ大会の開催、インターシッップの導入、病院・施設の慰問など

昨年、ミャンマー訪問もその一つ。六年前から行っていた遺跡修復工式に出席するためのものでした。

二月八日の早朝に日本をたち、タイのバンコクへ。一日観光を楽しんだ後、ヤンゴンを經由し、バガン入りしました。バガンはミャンマーのマンダレー地区にあり、大小さまざまな仏教遺跡が林立する仏教聖地。

特にバゴダ(仏塔)の傷みは激しいものの修復させる手段がなく、現在、世界

力になりたい災害復興



スータウンビン僧院の子どもたち。みんな礼儀正しく素直で、大きな目が印象的でした

各国から修復の手が入っています。今回私たちが修復したバゴダは、二千三百二十番目にもなるそうです。式典には僧侶をはじめ、地域の人も参加。ミャンマーは信仰心のあついで皆が手を合わせ、私たちに迎えてくれました。

その日の夕方、ヤンゴンに戻り、翌日はスータウンビン僧院を慰問しました。ここは二百七十人の孤児が暮らす孤児院を併設している。私たちがお菓子を渡すところ、安心して寝る場所

があり、安心して寝る場所があり、安心して寝る場所があります。私今自分のできる形で力になりたいと思います。